

人工衛星QuickBirdがとらえた世界遺産

- 厳島神社（1） -

データ収集：宇宙技術開発株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

本誌 78 号から人工衛星 QuickBird から見た「世界遺産シリーズ」を掲載しています。本号では、厳島神社を取り上げてみました。厳島神社は、1996 年 12 月に世界遺産として登録されました。登録領域は、厳島神社とこれと一体となった前面の海域、背後にそびえる弥山（みせん）の原始林一帯で約 431 ヘクタール（宮島の約 14%）に及びます。推古天皇の時代（6～7 世紀）に海に浮かぶ社殿が創建されたといわれていますが、今のような優美な姿に改められたのは 1168 年（仁安 3 年）で、平清盛によって社殿が造営されました。下図の QuickBird 画像を見て、厳島神社の配置、弥山原始林（天然記念物）の樹幹の様子、海域の波のパターン等、様々な情報を判読してみてください。

